ゴルフエッセー「耳と耳のあいだ」(第21回)

悲観的に準備し、楽観的に行動すればゴルフは易しい

2017.04.14



先日、私が主管するゴルフスクールが主催するゴルフツアーがあり、ご参加いただいた方のラウンドに同行しました。ツアーですから、ある程度コースに慣れている方が多く参加されているのですが、同行した私は「コース戦略が立てられていないな。戦略を立てれば、もっと良いスコアで回れるのに……」と感じました。多くの人が、非常にもったいないゴルフをしていると感じたわけです。

そこで、今回はコース戦略の考え方についてお伝えしたいと思います。ゴルフに限らず、あらゆる物事の成功の秘訣として、次の考え方を覚えておきましょう。

「悲観的に準備し、楽観的に行動する」

これは、もともと「孫子の兵法」にある教えです。ビジネスシーンでも大切な考え方ですので、すでにご存じの方も多いことでしょう。そしてこの教えは、ゴルフにおいても全く同じなのです。

スコアはコース戦略と戦術で8割が決まる

ゴルフのプレーにおいて、スイング技術だけを追求しても上達はかないません。フィジカル(体)やメンタル(心)を強化することも大切です。つまり、心技体を「三位一体」で向上させることが必要になります。

そして、スイング技術に限らず、コースプレーにおける「戦略」と「戦術」もゴルフにおいて必要な「技」として求められます。

・ゴルフの「戦略」
自分の飛距離やショットのクセ、得手不得手を考慮し、ホールごとに攻略ルートを講じること。このホールはティーショットをどこに打ち、その後どのようなルートでグリーンに乗せ、最終的にどうカップインさせるかというコースの攻め方を具体的に描くのが戦略です。

・ゴルフの「戦術」
ショットの局面において、残りの距離や高低差、風の状態やボールのライ、そしてバンカーや池といったの障害物がどこにあるかなど、あらゆる情報を収集し、狙い所や使うクラブ、どう打つかを考える。これが戦術です。

ゴルフのスコアは、このコース戦略と戦術で約8割が決まるといっても過言ではありません。

「慎重さ」と「楽観主義」を共存させよう… 続きを読む